

医療とデザイン・アートの連携が切り拓く未来

<日時> 2022年11月7日(月曜日) 13:00-15:00(日本時間)

<場所> オンライン

<言語> 日本語および英語

<概要>

デザインは、これまでの「モノ」のかたちのデザインから、快適で安全な生活を築くやり方を計画する「コト」のデザイン、さらに、よりよい社会を構想する「ビジョン」のデザインへと拡張し、医療者の負担を軽減するプロダクトの設計、わかりやすい説明資料やサービスデザインによる患者満足度の向上など、医療における様々な分野で連携が期待されています。本セミナーはデザイン(アート&テクノロジー)の連携について先進的な取り組みを紹介し、また九州大学で実施している両分野を連携した人材育成プログラムを紹介します。

<詳細>

時間	プログラム・講演者
13:00-13:10	開会挨拶 九州大学病院 国際医療部 准教授 森山智彦
13:10-13:50	講演 1 「エンタメ最前線の 3DCG 技術を医療で活用でき…る？」 株式会社サイアメント 代表取締役社長 瀬尾拓史
13:50-14:20	講演 2 「デザイン x メディカル：未来に触れる、新たなデザイン概念の探求」 中国湖南大学 設計芸術学院 工業デザイン科 助教 李子龍
14:20-14:50	令和 4 年度活動報告 九州大学病院 国際医療部 助教 工藤孔梨子 九州大学大学院 芸術工学研究院 人間生活デザイン部門 准教授 秋田直繁
14:50-15:00	閉会挨拶 九州大学大学院 芸術工学研究院 ストラテジックデザイン部門 教授 平井康之

<お問合せ先>

担当：富松俊太、森由美

所属：九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター

連絡先：092-642-5014